



行徳近郊緑地(欠真間三角)



緑と花の市民大学修了生の活動の様子

職 員

市職員の昼休み時間延長

鈴木啓一議員(ポランテア)
平成21年度から市職員の昼休み時間が45分に短縮された結果、外出する職員が減り周辺商店街に影響を与

60分への延長 早期に実施すべき
10月試行を経て平成24年度に実施

えている。また、職員の健康管理が十分に確保されていない。私は議会で3回にわたり質問してきた。県内自治体の約9割は既に60分減り周辺商店街に影響を早

えている。また、職員の健康管理が十分に確保されて

いない。私は議会で3回にわたり質問してきた。県内自治体の約9割は既に60分減り周辺商店街に影響を早

期に実施すべきである。その後の経過と状況はどうか。
答 23年2月に延長実施案を職員組合に提示後、終業時間繰り下げによる10月からの試行実施を提案した。また周辺商店会の要望も受け、認識を新たにしている。今後は試行を通して、経済活性化の面からも24年4月に本格実施する予定である。

市職員の給与

石崎ひでゆき議員(みんなの党)
職員1人当たりの平均給与は、ラスパイルズ指数及び県内他市や類似団体との比較でも高い水準となつて

早急な対策が必要 市の考えは
人勧に基づくも必要あれば見直す

おり、法が定める均衡の原則からみても、早急に対策すべきである。また、職員手当についても、県内でも上位にあり見直しが必要と考える。市の見解を問う。

おり、法が定める均衡の原則からみても、早急に対策すべきである。また、職員手当についても、県内でも上位にあり見直しが必要と考える。市の見解を問う。

答 職員の給与改定は人事院勧告に準じて実施してきたが、結果としてラスパイルズ指数及び平均給与が高いことは認識しており、給与構造改革の実施が1年遅れたことが大きな要因の一つと考えている。今後は国の水準を超えている支給分から、その必要性を検討しつつ整理、是正を進めたい。

環 境

行徳近郊緑地

中村義雄議員(公明党)
行徳近郊緑地の通称「欠真間三角」の水路周辺は、市民ボランティアと市との協働によって美しい景観とな

市民ボランティアとの協働どう認識
良好な環境保持に貢献している

り、来訪者の憩いの場となっている。これまでの市民ボランティアの清掃美化についての取り組みや今後の協働に対する認識を問う。
答 市民ボランティアは、

り、来訪者の憩いの場となっている。これまでの市民ボランティアの清掃美化についての取り組みや今後の協働に対する認識を問う。

草刈りやゴミ清掃等を随時行なっており、良好な環境の保持に貢献されていると認識している。今後、市と市民ボランティアとの作業区分を明確にした覚書を締結していく。また、看板等を設置して、市民ボランティアとの協働内容を積極的にPRしていきたいと考えている。

緑と花の市民大学

石原よしのり議員(民主・連合)
森林保全活動のリーダーを養成する「緑と花の市民大学」が平成23年度で終了

修了生の今後の活動 どう支援
PRやネットワークづくりなど推進

今後の森林ボランティア養成の施策と市民大学終了後の修了生の活動の支援をどのように考えているのか。
答 市民大学終了後も、市民の緑に対する関心と理解を深めるため、啓発講座の開催や緑地の視察等を考えている。また、修了生への支援としては、引き続き緑のパートナーシップを推進するため、緑地整備に関するアドバイスや資機材の貸与、講習会等の情報提供、後継者育成のための団体PRやネットワークづくりの推進等を検討していく。

今後の森林ボランティア養成の施策と市民大学終了後の修了生の活動の支援をどのように考えているのか。

を深めるため、啓発講座の開催や緑地の視察等を考えている。また、修了生への支援としては、引き続き緑のパートナーシップを推進するため、緑地整備に関するアドバイスや資機材の貸与、講習会等の情報提供、後継者育成のための団体PRやネットワークづくりの推進等を検討していく。

ま ち づ ぐ り

狭い道路のセットバック

佐藤幸則議員(自由民主党)
狭い道路を歩いていると、建物を建てる際にセットバック(道路後退)されたはずの場所に扉や門が建っ

不正使用の状況と市の対応は
是正に向け粘り強く指導進める

ていた。また、プランターが置かれていたりしている。こうした不正使用については、市はどのように把握しているのか。また、チェック体制や指導は正の状況はどうか。

ていた。また、プランターが置かれていたりしている。こうした不正使用については、市はどのように把握しているのか。また、チェック体制や指導は正の状況はどうか。

答 セットバックされた場所が建築物の完了検査後に不正使用されるケースもあると認識している。チェックについては専任の担当者がパトロールを行っており、是正を求めた案件は年に10件程度ある。市としては、相手方に丁寧に説明し理解を得ながら粘り強く指導を進めることとしている。

建築物の高さ規制

谷藤利子議員(日本共産党)
市では良好な街並みや住環境の保全を目的に、建築物の高さ制限を検討しているが、老朽化が進んだマン

関係住民との十分な話し合いが必要
今後の意見も踏まえて整理していく

ションの大規模修繕や建て替えには住民の合意形成という難しい問題もある。規制については結論を急がずに関係住民との話し合いを十分に行う必要があると思

ションの大規模修繕や建て替えには住民の合意形成という難しい問題もある。規制については結論を急がずに関係住民との話し合いを十分に行う必要があると思

うが、市はどう考えるか。
答 高さ制限については、既存建築物の建て替え時や街区単位で地区計画等を定めた場合に例外を認めることを検討している。市民からは既に多くの意見を頂いているが、心配や不安の声もあり、今後頂く意見等も踏まえて、市全体を見渡す中で整理していきたい。

行徳地域の雨水排水対策

青山博一議員(緑風会)
近年の気候変動の影響で、ゲリラ豪雨に見舞われることが多い。市内でも低地の行徳地域の排水施設は老朽

排水路やポンプ場の整備状況は
30mmの雨水排水可能 今後も整備行う

化が進み、集中豪雨に対応できるのか住民は危惧している。予想外の事態を想定し、早急に対処すべきと考えるが、同地域の排水路やポンプ場の整備状況を問う。

化が進み、集中豪雨に対応できるのか住民は危惧している。予想外の事態を想定し、早急に対処すべきと考えるが、同地域の排水路やポンプ場の整備状況を問う。

答 最近の排水対策としては、まちづくり交付金を活用した水路改良工事とポンプ場の改築整備等、段階的な整備を行っている。これらにより、本市の雨水排水計画で定める時間雨量50mmに対して、30mm程度の雨水排水の整備ができており、認識しているが、今後も市全体を考えた整備を行う。

東日本大震災からの復興支援

荒木詩郎議員(みらい)
東日本大震災による液化化被災した分譲マンションの復旧には、多額の費用

被災マンション復旧に市の助成を
費用の一部助成 関係部署と検討

がかかる、組合等の負担が大きい。被災した分譲マンションの復旧のための助成措置について、市はどのように検討しているのか。
答 被災状況を把握するため、分譲マンションの管理

大きい。被災した分譲マンションの復旧のための助成措置について、市はどのように検討しているのか。

組合を対象にアンケート調査を実施した。その結果を踏まえ、液化化等の被害が発生したマンションに対しては、一定の条件の下に復旧に要する費用の一部を助成する方向で検討している。今後、金額や手続き対象等の具体的な点については、関係部署と詰めていくこととしている。